

審議した主な議案

令和6年度一般会計予算

2月22日の本会議において予算特別委員会(五十嵐京子委員長)に付託し、3月8日、11日、12日、13日、14日、15日及び21日の計7回にわたり審査を行いました。

歳出予算の主な内容は、中間処理場跡地に建設を進めている資源物処理施設整備事業の措置に係る費用を含む「塵芥処理に要する経費」(66億5千119万円)、市内における未着手の都市計画道路の必要性を検証し、市施行路線の優先順位を整理するための費用を含む「都市計画事務に要する経費」(2千237万3千円)、各小・中学校が快適で十分な安全性及び衛生的な環境を備えた安全・安心なものとなるよう、施設の改修及び設備の更新に係る費用、学校施設長寿命化計画に基づく施設の老朽化対策と学級数増への対応のため、第一小学校、緑小学校における校舎増改築等の設計を進め、工事に着手するほか、東小学校において増築校舎を借り上げるための費用を含む「学校施設整備に要する経費」(4億5千25万9千円)、名勝小金井(サクラ)名勝指定100周年を記念して、式典、学校植樹、記念看板設置、記念ブックレット作成等を行うための費用を含む「名勝小金井(サクラ)復活プロジェクトに要する経費」(千45万5千円)、などです。

3月21日の委員会では、起立採決の結果、可否同数となり、

委員長裁決により、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

3月25日の本会議では、安田議員ほか1名から、男性H.P.Vワクチン接種に関する歳出の削除を求める組替え動議が提出されましたが、否決した後、原案について採決を行い、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

反対討論(要旨)

片山かおる(子どもの権利) 裁判所による、廃園専決処分は違法で廃園条例は無効という判断に対し、市長は控訴しないが違法で無効は原告にのみ適用、廃園条例は生きている、園児募集は再開せず、原告のお子さんのみ入所と報告。子どもの権利を大きく侵害する市長に強く抗議。司法判断に背かず、違法で無効な条例での保育行政を正し、元の条例での運営を求める。庁舎建設に関して市民の意向聴取の実施を求める。都市計画道路2路線の検証は、執行前に議会と十分に協議すべきである。

賛成討論(要旨)

河野麻美(自民党・信頼) 会派として要望した施策が多く予算化された点は評価するが、市長の政策意思の見える予算が少なく提案姿勢にも問題があった。優先整備路線に対する検証はその目的や方向性、具体的な内容について市長の説明が質疑の度に二転三転し、何のための検証なのか不明瞭であった。政策熟度を高めての提案を求める。また、なかよし市民まつり開催中止に係る対応や公共施設の修繕、公立保育園等多くの課題があり最小の経費で最大の効果を出す計画的な行政運営を求める。

水の上洋志(日本共産党) 公立保育園廃園取消訴訟において、廃園条例は無効との判決が示された。それにもかかわらず市長は、判決は原告の児童だけが対象で、廃園条例は有効との立場を表明した。コンプライアンスに重大な問題がある。元の条例に戻し、廃園2園での募集再開を求める。また、物価高騰等の中、更なる市民生活支援が必要。学校給食費無償化など実現すべきである。そして、市庁舎等建設がコストや広場、耐震構造など問題がある現設計で進めることなどから反対する。

賛成討論(要旨)

村上ひでき(みらい) 事業者に対する補助メニューを新設し支援する障害者日中活動系サービス推進事業、本町小学校での試行が始まる小学校水泳授業委託、学校部活動の地域連携に関する検討委員会の開催、住民税と国民健康保険税の電子納付追加、民設民営学童保育の実施、市立公園指定管理委託の開始、名勝小金井(サクラ)100周年記念事業を評価する。また、今年10月の市民まつり中止の周知と能登半島地震発生後の教訓をいかした災害対応備蓄品の購入を要望する。

賛成討論(要旨)

水谷たかこ(こがおも) 賛成の主な理由は、提案してきた事業が含まれていることだ。例えば新庁舎等建設、公共施設の在り方・再編方針策定、市報リニューアル、DX推進、産後ケア事業の拡充、こどもの意見反映への積極的な取組、部活動地域連携計画策定等である。市立公園の指定管理が始まるが、市民から要望が多いボール遊びができる場所を増やせるよう市民とも協働しながら実現してほしい。働きやすい環境づくりにともなう各職員の一人として貢献したいので各位のご協力を願う。

賛成討論(要旨)

坂井えつ子(緑・つながる) 議会の議決も経て進めてきた新庁舎等建設事業は、着実に進めていくべきだ。はけと野川をこわす都市計画道路の検証は、環境・動植物や地域コミュニティへの影響調査と、2路線の中止を都に要望する判断を望む。玉川上水は桜だけではなく他の樹木のいのちも等しく尊重した維持管理を求める。地方分権以降、市役所の業務は増えたが、人減らしの行革が続き、余力がない状況だ。繁忙期対応と市の課題解決のため、人員の適正配置の検討と必要な措置を求める。

賛成討論(要旨)

清水がく(街の仲間たち) 福祉総合相談窓口の地区担当包括化推進員の増員によるきめ

細やかな相談体制、武蔵小金井駅北口再開発事業、小金井桜名勝指定100周年事業など市民生活に重要な予算が多く盛り込まれていることは評価する。一方で、都市計画道路に関する検証は東京都に事業中止要望書を出すための予算であり、12万市民の生命を守るべき小金井市長として大変無責任である。初当選から言い続けてきた「命を守る道路」3・4・11号線の必要性をこれからも市長に伝え続ける。

賛成討論(要旨)

森戸よう子(日本共産党) 認証保育所は、認可保育所に入所できない児童と保護者を支援するため、重要な役割を果たしてきた。東京都の認証保育所の開設条件は0歳児保育が必須条件。この間の定員割れは認証保育所でも影響がある。市は認可保育所とは違っていると、定員割れの補助や認証保育所の子どもの安全のための修繕費用を出すつもりはないと答弁したが、市役所庁舎にはほとんどお金を使わずにいくのにも、認証保育所のわずかな修繕費用が出せないという姿勢は見直すべきである。

賛成討論(要旨)

高木章成(子どもの権利) 小金井市下水道事業会計予算に税を厳しく監視する観点から反対討論する。下水道事業会計及び下水道事業特別会計から毎年納付している消費税等の納付税額が不足していることが判明し、補正予算に延滞税12万2千円が特別損失として計上された。長年、時効消滅分を含めて納税を懈怠しており、コンプライアンス上、極めて問題だ。何を契機にこのような懈怠が始まった

賛成討論(要旨)

たゆ久貴(日本共産党) 小金井市は介護保険料の800円の値上げを決めた。低所得者への保険料減免制度の対象者の拡大を行ったことは評価できるが、保険料の負担増は行うべきではない。訪問介護の基本報酬引き下げも深刻であり、行うべきではない。国はそもそも、社会保障・介護にもっと予算を増額するべきであることと、小金井市は現状においても市として予算を回して介護・高齢者福祉を充実させることを強く求める。

賛成討論(要旨)

たゆ久貴(日本共産党) 福祉的視点から高齢者施策の充実を求める陳情書

令和6年度下水道事業会計予算

2月22日の本会議において予算特別委員会(五十嵐京子委員長)に付託し、3月15日の委員会審査を行いました。

本予算は、収益的収入20億6千630万円、収益的支出を20億4千397万円と定め、資本的収入2億4千865万9千円、資本的支出を4億6千144万円と定めるものです。

3月15日の委員会では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

3月25日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

反対討論(要旨)

高木章成(子どもの権利) 小金井市下水道事業会計予算に税を厳しく監視する観点から反対討論する。下水道事業会計及び下水道事業特別会計から毎年納付している消費税等の納付税額が不足していることが判明し、補正予算に延滞税12万2千円が特別損失として計上された。長年、時効消滅分を含めて納税を懈怠しており、コンプライアンス上、極めて問題だ。何を契機にこのような懈怠が始まった

賛成討論(要旨)

たゆ久貴(日本共産党) 福祉的視点から高齢者施策の充実を求める陳情書

の、職員の責任を問うべきで、延滞税にかかる求償権行使がない本予算に反対する。

賛成討論(要旨)

森戸よう子(日本共産党) 認証保育所は、認可保育所に入所できない児童と保護者を支援するため、重要な役割を果たしてきた。東京都の認証保育所の開設条件は0歳児保育が必須条件。この間の定員割れは認証保育所でも影響がある。市は認可保育所とは違っていると、定員割れの補助や認証保育所の子どもの安全のための修繕費用を出すつもりはないと答弁したが、市役所庁舎にはほとんどお金を使わずにいくのにも、認証保育所のわずかな修繕費用が出せないという姿勢は見直すべきである。

賛成討論(要旨)

高木章成(子どもの権利) 小金井市下水道事業会計予算に税を厳しく監視する観点から反対討論する。下水道事業会計及び下水道事業特別会計から毎年納付している消費税等の納付税額が不足していることが判明し、補正予算に延滞税12万2千円が特別損失として計上された。長年、時効消滅分を含めて納税を懈怠しており、コンプライアンス上、極めて問題だ。何を契機にこのような懈怠が始まった

賛成討論(要旨)

たゆ久貴(日本共産党) 福祉的視点から高齢者施策の充実を求める陳情書

福祉的視点から高齢者施策の充実を求める陳情書

賛成討論(要旨)

たゆ久貴(日本共産党) 小金井市は介護保険料の800円の値上げを決めた。低所得者への保険料減免制度の対象者の拡大を行ったことは評価できるが、保険料の負担増は行うべきではない。訪問介護の基本報酬引き下げも深刻であり、行うべきではない。国はそもそも、社会保障・介護にもっと予算を増額するべきであることと、小金井市は現状においても市として予算を回して介護・高齢者福祉を充実させることを強く求める。

賛成討論(要旨)

たゆ久貴(日本共産党) 福祉的視点から高齢者施策の充実を求める陳情書

閉会中の委員会日程及び審査案件

議会運営委員会 4月15日(月) 午前10時 5月27日(月) 午後2時 審査案件: 5件	行財政改革推進調査特別委員会 4月23日(火) 午前10時 審査案件: 1件
厚生文教委員会 4月18日(木) 午前10時 審査案件: 5件	庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会 5月8日(水) 午前10時 審査案件: 1件
総務企画委員会 4月22日(月) 午前10時 審査案件: 1件	建設環境委員会 5月20日(月) 午前10時 審査案件: 2件

※各委員会の審査案件は、二次元コードをスマートフォン等で読み取ると、ご覧いただくことができます。

※委員会等の映像については、YouTubeで中継・録画配信しています。

広報協議会を開催しました

【3月19日】

- ▶ 各部会の状況報告について
- ▶ 議会改革の調査事項について

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

※紙面の都合により、審査案件の掲載は省略しています。